



日本カトリック海外宣教者を支援する会

巻頭言

私の人生を導く神
—おそい宣教地赴任—

イエズス会司祭 浦 善 孝（東ティモール）

Abri, Senhor, os meus lábios, E a minha boca anunciará o vosso louvor.

Senho, sois o meu Desu: desde a aurora Vos procuro. A minha alma tem sede de Vós.

（主よ、私の唇を開いてください。私の口はあなたを賛美します。主よ、私の神。夜明けから私はあなたを探し求めます。私の魂はあなたを渇き求めています。）

毎朝4時に起床し、水浴びをして、朝の祈りをこのポルトガル語の言葉ではじめます。新しい学校（聖イグナチオ・デ・ロヨラ中学校・高等学校と聖ジョアン・デ・プリトー教育大学）の設立運営に携わるため、東ティモール（2002年独立）に派遣されてもうすぐ丸9年になります。年に数回司教区の泊りがけの会議に召集されるので、司教座聖堂がある町まで片道135キロの悪路を辿ります。初めて会議に参加した時、司祭団が集う夕の祈りや朝の祈りは旧宗主国の言葉のポルトガル語（現在の公用語）だと知りました。その時は右も左もわからず恥ずかしい思いをしました。取って返し首都のポルトガル語書店に向かい、ポルトガル語の教会の祈

♥♥♥ もくじ ♥♥♥

巻頭言	1
第79回運営委員会議事録	3
宣教者からのお便り	4
こんにちは！お久しぶりです	8
ザ・メッセージ ECHO	8
連載「海外宣教」	10
新入会員・事務局より	12



りを買い求めました。

司祭叙階後ずっと学校で働いていました。50歳を目前にしたころ、独立戦争で荒廃した東ティモールに新しい学校を設立するプロジェクトに派遣されました。この歳で宣教師になるのは遅すぎる感がありましたが、50歳になるまでの2年間で現地語（テトゥン語）を覚えて、それから75歳まで25年間は仕事ができるだろうと思い赴任しました。主に中学・高等学校で働いていて、教頭・事務長を務めています。中高生に宗教科を教え、学校図書館を運営し、事務室では会計に携わっています。奨学金支給業務も私の仕事です。2020年は、全校生徒840人中123人が奨学生で、主な原資は日本の皆様からのご寄附です。日本で長く働いていたため旧知の方々から恩顧を頂くことができます。また狭い場所を飛び出して仕事を始めたので、新しい方々との出会いもたくさんありました。

開校9年目を迎えた聖イグナチオ学院は、名実共に東ティモールのトップ校になりました。これまで卒業式を3回挙行了しましたが、毎年的高校卒業認定国家試験では成績1位に私たちの学校の生徒の名前が並びます。教育熱心な家庭はわが子を受験させ、評判の進学校になってしまったのです。私たちのミッションは、「貧富の隔たりなく、学びたいすべての子どもたちによい教育を提供できるきちんとした学校」のモデルスクールになることにあります。これは国連が提唱するSDGsの目標4に应ずるものです。そのため、意図して貧しい家庭の子どもたちに奨学金を支給し入学させるようにしました。彼ら彼女らは入学試験の成績が芳しくないの、特別な合格基準点も設けました。洋服やカバン、靴や交通費も補助します。私は奨学生採用にあたりすべての子どもたちの家庭訪問をしますが、貧しい生活を目の当たりにしてそうそうに立ち上がることもあります。

1月の半ば、デング熱に罹り国立病院に入院しました。血液の問題を併発し十数名の方々から献血をいただき輸血をうけました。退院後、「いのちが危なかったんだ」と聞かされました。今は、1か月間の静養期間を修道院で過ごしています。日本では滞りがちだった聖務日課も、



東ティモール・聖イグナチオ学院 ギリシャ
神話劇を演じた高校3年生と

当地では唱えることができます。時折、「人々を助け、奉仕して、大変ですね」とねぎらいの言葉を受けます。しかし宣教地に赴くことは、派遣された者が修道者の生き方を全うし、トランスフォームできる途でもあります。私の人生を導く神。神様もう少し命をください。そうすれば、それを細く、長く使います。

＊ブログで聖イグナチオ学院を紹介しています。
＜東ティモール ワニ通信＞で検索できます。

□■□ 第 79 回運営委員会議事録 □■□

日 時：2020 年 12 月 12 日（土） 15:00~17:00 予定が中止

場 所：フランシスコ会聖ヨゼフ修道院 2 階会議室の予定が中止

☆初めに今回の運営委員会を開催するにあたり、コロナ患者数増加を考え、また欠席の委員が 7 名になったことから開催を残念ながら見送ることにした。以下は議案書の形で委員の皆様に報告し、メール会議とした。

議 事

I. 「きずな」153 号について

- ・ 巻頭言を書いってくださった運営委員の後藤美佐子さんに感謝。そして記事にもあった長年瀬田発送に携わってくださっているボランティアの方々にも感謝。
- ・ ベリメルセス会の弘田しづえシスターに連載を依頼して第 1 回を掲載した。
- ・ 顧問山野内倫昭司教（さいたま教区）と村上芳隆会長（聖フランシスコ会）も発行寸前に原稿依頼。快くお引き受けいただき感謝。事務局
- ・ 今回はお三方の原稿によりクリスマスにふさわしい号になったと思う。またコロナの影響だと思うが、事務局訪問が全くなく残念だった。何とか、クリスマスに因んだ記事でまとめられたことで無事発行できた。編集者

II. 「きずな」154 号について

巻頭言→イエズス会 浦義孝神父にお願いした。

連載→メルセス会のシスター弘田シズエにお願いしている。

III. 援助申請審議について

- ・ 今回は世界もコロナで大変なためか、申請はゼロ件であった。これから徐々に申請が出てくるのではないだろうか？ 事務局
- ・ 前回継続審議となっていた 2 件シエラレオネ、シスター白幡和子からのウオータータンクの件とチャド、シスター泉叔美からの助産婦の資格コースを取る子供の 2 年分の学費については、現地に問い合わせなどして、のちにメール審議で援助決定となり、それぞれ 9 月 30 日と 29 日に送金済。

IV. その他

- ・ 今回申請が無くコロナで運営委員会を開催できなかったことで、援助費、会議費、交通費などが支出されず、今年度会計予算案は大幅に下方修正される。
- ・ 一方で瀬田ボランティア発送が出来ず、すべて業者発送となり予算を上回る予定。
- ・ 援助送金していたみずほ銀行六本木支店の外為が閉鎖されるため次回からは恵比寿のみず

は銀行にて送金することになった。往復の時間を要するために事務局を留守にする時間が少々長くなる。

- ・今回の巻頭言は、瀬田について詳しく書いてくださり良かった。これから発送ボランティアにも巻頭言をお願いすると良いという意見もあった。
- ・これからウェブ会議も見据えていくと良いという会長からの意見があった。

・事務所冬休みは 12月23日～1月4日まで

・次回運営委員会 3月13日（土）15時～聖ヨゼフ修道院2階会議室予定



ボリビア

◆サンタクルス◆

ミニバスでのドライブ外出

イエスのカリタス修道女会 立石 順子

この一年、世界中が、パンデミックに振り回された年でしたが、お元気で過ごしてしょうか？コロナ騒動によって、多くの問題に直面しながら、学び、体験されていることと思います。南米でも蔓延するコロナウイルスの猛威に、不安を抱えながらも、コロナウイルスと共存せざるを得ない中、私たちは、命を守り、支えあう生活を送っています。

この緊急事態の長い間、教会に集うことはできませんでしたが、オンラインを通してのミサや祈りの集いへ参加を通して、世界につながる教会家族と霊的つながりをより強く感じ、私たちも信仰の炎を、灯し続けてきました。

コロナ渦の中、子供たちは元気いっぱい、幼稚園のオンライン授業や宿題、いろいろの行事を楽しみにしながら過ごしています。未成年

者は、週日終日の外出が禁止されていたので、一日中、施設の中に缶詰め状態で、職員たちは、年齢に合わせた活動や行事を計画しなければならず、手探り、試行錯誤を重ねながら、シスター達と協力して、子供たちの養育に頑張っています。そのような中、唯一の楽しみは、未成年者の外出が許されている週末の天気の良い日に、子供たちは、ミニバスに乗り込んでの一時間のドライブでした。人気のない公園で、4、5歳児は、しばらく走り回り、自然を楽しみました。帰るのを嫌がって、泣きだして駄々をこねる2～3歳の子供たちを、なだめてミニバスに乗せるのに苦労しました。子供たちなりに缶詰め状態のストレスを感じていることを痛感しました。子供たちの健やかな成長と笑顔は、宣教の大きな力であり希望です。この9か月間に、大きな病気一つせず、食欲旺盛でヤンチャ、いたずらなど子供らしさを発揮しつつ、育っていることは、神様のご保護と多くの方々からの励ましと祈り、支援のおかげと感謝しています。

小さく貧しい子供たちのために祈りとご協



力くださる皆様に感謝するとともに、またこれからどうぞよろしくお願いいたします。皆様のご健康、希望と平和のクリスマス・新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

マダガスカル

◆アンタナナリヴォ◆

修道会派遣 120 周年

マリアの宣教師フランシスコ修道会 平 間 理 子

クリスマスと新年のお慶び申し上げます。

今年はコロナに振り回された年でしたが幼きイエズス様が平和と喜びを持ってきてくれました。今日 12 月 29 日に 3 袋の冊子を受け取りました。ありがとうございました。今はコロナで日本人の方々が日本に帰り日本の新聞や雑誌が回って来なくなり少々退屈をしていましたので送っていただいたのは嬉しいプレゼントでした。

マダガスカルも 3 月 23 日から外出禁止令が出て 7 月にはコロナが増えて大変でした。当修道会のシスターが続けて 3 人も帰天し、当院の小児科医も帰天しました。11 月に入り減少傾向にあり 12 月に入り数の報告は週に 1 度になり人口が少ないので 20 日から 26 日までに感染者は 81 人ですが検査の数も少ないのではと思います。噂ではコロナがだいぶ増えていると言っていますが本当のことはわかりません。今は幸いにミサは毎日あります。又当修道会がマダガスカルに来て 120 年で最初に来た修道院で 26 と 27 日には盛大に 120 年の祝賀式が行われました。27 日の盛大なミサの日は台風の影響で前日の夜から大雨でしたが野外ミサは急遽教会内で行われました。私は長く立っているのが難し

いので野外ミサは無理と思い参加できませんでしたが 400 人近い招待者とのことでした。私はお年寄りのグループのお世話係をしていますが 98 歳のシスターが入院中でしたので何かあった時をおもい 1 人で留守番をしていましたので静かにゆっくりと過ごしました。私はコロナにも罹らず至って元気です、まだ病院にはまだ半日のみですが勤めています。お祈りのうちに……

チャド

◆ライ◆

スマートホンを使いこなして

ショファイユの幼きイエズス修道会 松 山 浩 子

チャドでコロナに罹った人は、国全体で 1,890 人、昨日は 23 人でした。私が住んでいる町では、まだいません。

頑張って学校の中学生に音楽の授業を教えています。フェイスブックも 10 月に始め、レナト神父のメッセージを読むことができます。

日本からいろんな方々が祈って下さり本当に心から感謝しています。フェイスブックには写真と私が作ったいろんな絵も載せています。24 日に刑務所の人々と共にクリスマスをお迎えするため、いま準備をしています。郵便物も届かないので、スマートホンを使いこなせるように頑張ろうと思っています。お祈り下さる全ての方々にお礼をお伝えしたくて、JLMM の漆原さんもよくメッセージを送って下さり、フェイスブックで懐かしい人々の出会いに感謝しています。神様に祝福に満ちた主の御降誕でありますように、心からお祈り申し上げます。感謝と祈りのうちに……

チャド

◆ライ◆

寄り添う本当のクリスマス

ショファイユの幼きイエズス修道会 平 静 代

クリスマスと新年あけましておめでとうございます。海外への郵便物が止められているために、クレジットカードが届きません。

貧しいイエズス様に寄り添う本当のクリスマスです。12月13日洗礼式がありました。マットレス購入の報告をしなければならないのですが、もうしばらくお待ちください。



イタリア

◆ローマ◆

全土で24時間外出禁止令

聖マリア修道女会 荒 井 祥 恵

今年、私たちの東チモールのミッションのために支援いただきまして、本当に有難うござい

ます。私は10月20日にローマに帰ることは出来ましたが、インドネシアが依然として国境を閉じているため、まだ東チモールへ入ることが出来ないでいます。6人の姉妹たちも首を長くして待っていてまして、Covid-19の一日も早い収束を日々祈っています。

東京も、そして全国的にも感染者の数がどんどん増えていきますね。ここイタリアも、とても悪い状態で一日1万人以上の感染者が出ています。12月24日から27日までと、1月1日から4日までは、イタリア全土で24時間外出禁止令が出ています。くれぐれもお気をつけてお過ごしください。ご家族ためにもお祈りしています。

南アフリカ

◆ヨハネスブルグ◆

霊的聖体拝領の日々

イエスの小さき姉妹会 片 井 暁 子

昨日きずな150号、151号同時に受け取らせていただきました。お礼の連絡が遅れてしまいましたが2週間前にはたくさんの冊子も届いて喜んでいました。本当にありがとうございました。季節外れではありますが日本の教会の様子が垣間見られて嬉しいです。ありがとうございました。

未だにパンデミックの終息の見通しがつかない日々ですが希望と喜びの待降節を過ごすことができますように。

日本はコロナウイルスの第3波が始まっていると聞きましたが、先週またたくさんの冊子と教皇フランシスコのミニカレンダーをいただき

ました。パンデミックの影響で一層遅れに遅れてではありますが無事に受け取らせていただけて感謝しています。

こちらロックダウンレベルは緩められたのですが未だに終息の見通しが立つどころか感染者が増加しているようです。まだまだミサに与るのに制限があり殆どは霊的聖体拝領、日曜日だけはインターネットでライブミサに与って保存のご聖体を戴くという生活です。最近月に2度私達の家でのミサの許可を司教様から頂き大喜びしています。お身体を呉々も大切にお過ごしください。心から感謝と共に

.....

シエラレオネ

◆ルンサ◆

やっと目途が立ちました

ご聖体の宣教クララ修道会 白 幡 和 子

ウォータータンクですが、先週やっとフリータウンに行けて支払いをすることが出来ました。お店の人が届けて下さることになっています。約束はその日から2日後の16日でしたが、20日の今日になってもまだ届きません。領収書と一緒にそのタンクの写真もお送りしたいので待っているところです。あれやこれやで遅くなっています。

.....

日本

◆東京◆

コロナ下の日常

新宿区在住 運営委員 波多野 真理子

日本では2020年1月に初めての感染者が

確認され、4月に累計3,000人、7月には30,000人、そして12月に200,000人、となり2021年2月現在では400,000人が確認されています。数の上では比較的少ない方だとも言われていますが、私達の生活は大きく変わったと実感する日々です。

昨年2月末にすべての学校が閉鎖された折には、初めてのことに親も戸惑うばかりでした。大人も出社を控え可能な限り家でのリモートワークとなり、家族全員が家庭で過ごす時間が増えました。公園でお父さんと遊ぶ子供達や家族で散歩するなど微笑ましい様子も見かけられましたが、その一方問題を抱えた家庭では、深刻な事態が、幾つも起きるようになってきました。また、飲食店をはじめ様々なお店からは客足が遠のき、シャッターを閉めたままの所をよく見かける様になり、それはつまり仕事や職場が失われていることを意味しています。

GO-TOトラベルと称するキャンペーンですっかり寂しくなっていた旅館やホテルに一時旅行者が戻りましたが、この結果一段と感染者が広がり遂には取り止めとなりました。そのため旅行・観光にかかわる事業もまた先行きの見えない状態となっています。

「出かけない・人と会わない」、このことは、高齢者の方達にとって人とかわからず一人で過ごす時間のみが増え厳しい状況を産み出すこととなります。散歩の折りに出会った人と声を掛け合う、近くの商店で買い物の折りに少しお喋りをする、スマホでメッセージや画像をやり取りしたり、電話での近況報告等々。各々が出来る範囲内で繋がりを保つ方法を探しながら健康に過ごせるようにと心がける日々です。

こんにちは！お久しぶりです！！

事務局訪問の宣教者

1月29日 ————— グアテマラ



ベリス・メルセス宣教修道女会

Sr. 眞神シゲ

《コロナ禍のため電話による
インタビュー》

2週間前に帰国しコロナ禍のため2週間の待機をしてからようやく出られた。グアテマラからの飛行機は300人乗りの飛行機に30人ほどしか乗っておらず、広々としていた。

飛行機も換気をしているという事だった。

すでにメキシコ チアパスからグアテマラに派遣先が変更になった。こちらは大変貧しく、病院も無し、今はコロナで乗り合いバスも中止、田舎なので人も少ないのだが、5時以降の集会禁止、マスクをしないとイケないのは勿論のことその上からフェイスシールドをして、手袋をして帽子をかぶらないと歩けない。今回は3年に一度の帰国。すでに前回より3年経って、85歳になった。目のチェックの為に帰国した。2月ごろに手術する予定、今回は6月ごろまで日本に居る予定。



* スコットランド グラスゴー

マリアの宣教者フランシスコ修道会 玉木志津

先日きずな153号を受け取りました。いつも覚えていて下さり感謝しています。ニュースでご存じと思いますが、こちらスコットランドもかなりCovid-19が蔓延していますし身近に亡くなる方が増えて脅威を感じています。お陰様で何とかロックダウンの中で元気にしております。皆様もお体お大事にお過ごしください。

* イタリア ローマ

イエスのカリタス修道女会 松山恵美子

きずなNo.152と153を同時に受け取りましたのでお知らせします。ありがとうございます。感謝のうちに回し読みを始めました。皆様のお働きに感謝しつつ。

* イタリア アッシジ

アッシジの聖フランシスコ宣教修道女会 増田富子

私はきずなを送っていただいているイタリア在住の修道女です。実はどうして急に私のところにお便りが来るようになったのか私には分かりません。平穩にのんきな生活をしている私のようなものでも海外宣教者とみていただいて、いつも申し訳ない気持ちで受け取っています。先日は12月号と共に手書きのカードをいただき恐縮すると共にありがたく、とてもうれしく思い、お礼の一言を申し上げたくてメールをお送りしています。

スタッフの方々、支援会員の方々、皆様の支援のお心に感謝します。皆様にとっても2021年が神様の祝福に満ちた年でありますように。

* オーストラリア アデレード

聖パウロ女子修道会 松本 恵

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

きずな 151 号、昨日受け取りました。その号に、ちょうど私の記事を載せてくださっていたのですね。ありがとうございました。

*カナダ ケベック

クリスト・ロア宣教修道女会 大橋敬子

いつも『きずな』誌をお送りいただきましてありがとうございます。以前、一緒に働いていた姉妹が日本に帰った後で、『きずな』を続けてお送りくださるようお願いしました。その後インターネットで読むことができるとわかり、なるべく皆様にお手数をおかけしないようにと思いました。本当は印刷された『きずな』を読む方が心に入ってくるのですが…

わたしのいるカナダも Covid-19 のために、今は修道院でも、神父様方のお住まいのところでも、ある年齢以上の人は外出できません。でもわたしたちのところは恵まれています。貧しい国の人々はどうしていらっしゃるのでしょうか、毎日この感染症の収束のために祈っております。



▽少ない額で恐縮ですが、お納めください。宣教者、事務局の方をはじめ会員の皆様のご無事を祈っております。（神奈川県横浜市 匿名）

▽ニュースレターいつもありがとうございます。連帯しています。

（兵庫県神戸市 援助修道会 六甲修道院）

▽厳しい環境で宣教される皆様の安全とご健康を心からお祈りいたします。キリストの御言葉が多くの人に伝えられますように。

（北海道室蘭市 松岡健一・博子）

▽「きずな」「オリゾンテ」いつもありがとうございます。（神奈川県川崎市 山崎かずみ）

▽主のご降誕おめでとうございます。

（愛媛県西条市 近藤恵津子）

▽世界に広がるコロナ禍の中でご活躍中の宣教師の方々ときずな誌を送る準備をして下っているみなさまと心を一つにして祈りでの支援を送らせていただきます。一日も早くコロナが収束しますように平和を願いつつ。

（広島県広島市 矢野洋子）

▽「きずな」楽しみです。

（東京都世田谷区 高倍宣義）

▽気持ちだけですが、子供達がクリスマスを迎えることが出来るように祈っています。

（長崎県長崎市 方山きみ子）

▽世界で蔓延するコロナ禍の中でご高齢の修道者の方々のご健康を心からお祈り致します。

（東京都青梅市 鳥居孝一）

▽年末ギリギリになってしまいました。「きずな」をいつもありがとうございます。宣教者のご苦勞、働きを友人に伝えるようにしております。

（東京都中野区 広瀬昌代）

▽主のご降誕と新年のお祝いを申し上げます。「きずな」をいつもありがとうございます。匿名の方のご寄付がありましたので、併せて送金させていただきます。皆様のご活躍をお祈り致しております。

（北海道札幌市 カトリック北26条教会 担当今野）

▽コロナウイルスが一日も早く収束するように祈っています。（幼きイエス会 静岡修道院）

▽コロナ下、皆様お元気でいらっしゃいますか？海外で働いて下さっている方々も心配ですね。（京都市伏見区 片岡玉江）

連載

「海外宣教」

イエスの非暴力を生きる

弘 田 しずえ

ベリス・メルセス宣教修道女会

2016年、パチカン正義と平和協議会（現在、人間開発のための部署）、国際パックス・クリスティ、男女修道会総長連盟 JPIC などが、ローマにおいて、「非暴力と正義の平和」国際会議を開催し、アフリカ、中南米、ヨーロッパ、中東、アジア、太平洋地域から、司教、司祭、修道者、信徒、神学者が集まりました。参加者の大部分は、紛争地域の現場で日常的に暴力と弾圧を体験しながら、非暴力による平和の構築に取り組み、あるいは、行動的な非暴力が、真の平和をもたらすことを理論として成立させる営みに学問、政治、社会の場で展開している人びとでした。パパ様は、参加者にメッセージを送られましたが、参加者からは、会議の最後に、パパ様に、非暴力についての回勅（ローマ教皇から全世界の司教にあてて書かれる公文書）を発表してほしいという願いが送られました。これにたいして、2017年の平和メッセージは、「非暴力：平和を実現するための政治体制」で、回勅ではありませんでしたが、会議に開催に関わった私たちにとっては、希望を与える一歩となりました。

「私たちは、軍拡、経済的不正、気候変動、その他無数の暴力の現実による想像を絶する苦悩、トラウマ、恐怖に満ちた時代に生きています。暴力が構造的、日常的となった今、私たちキリスト者は、カトリック教会の実践と、人類と地球の癒しと和解の使命について、イエスのビジョンとメッセージである行動的非暴力を信仰の土台として生きることを確認します。」（2016年最終声明から）2021年の現実を見ると、構造的、日常的暴力の現実、新型コロナウイルスの蔓延と重なり、ますます悪化しているようです。コロナによって、家庭内暴力が増えたという現実が、世界中で起こっています。パパ様の元旦の平和メッセージ「**平和への道のりとしてのケアの文化**」は、思いやりの文化、ケアの文化を社会のありかたにするという招きです。思いやりの心を生きるためには、まず自分の心に静けさと落ち着きがあり、外からの刺激に反応するだけの表面的な生き方ではなく、聖霊の促しを聴き取る沈黙から、物事を観る生き方が必要であろうかと思います。それは、非暴力のイエスの優しさと暖かさを自分の態度、姿勢として生きられますようにという祈りからの流れです。

非暴力というと受け身の態度で、暴力にたいして抵抗しない弱さと理解されがちですが、福音のイエスの非暴力は、何もしない無力の生き方ではありません。イエスの言葉に怒った人びとが、崖から突き落とそうとしたとき、福音は、イエスが「彼らの真ん中を通して、ご自分の

道を行かれた」としてしています。イエスは逃げるのではなく、立ち向かうのではなく、暴力の真ん中を通して、ご自分の道を行かれたのです。また、ゲッセマネの園でイエスを捕えようとやってきた人びとの一人の耳を切り落としたペトロにたいして、「剣をさやに収めなさい。剣をとる者は、みな剣で滅びる」と言われます。教会の頭となるペトロに言われた最後の言葉です。「自分を愛するように、人を愛しなさい」と言われるイエスの新しい掟を生きるためには、まず自分の中にある暴力から解放され、自分にたいする優しさを育み、その落ち着きと平和から、人にたいして心を開き、うけとめ、思いやりを行動とすることだと思います。これが、神の似姿としての本当の自分に戻り続ける営みです。

2016年の会議に参加されたウガンダのエマニュエル・カトンゴレ神父の言葉が思い出されます。「暴力は、暴力をとめることはできません。それは、終わりのない暴力の悪循環をもたらすだけです。私たちが、非暴力を選びとるのは、それが平和に役立つからだけではなく、神さまの道だからです。非暴力は、神が宇宙を創造し、統治し、救うやり方です。キリスト者は、皆、キリストのやり方を選び取るように招かれています。悪、暴力に向き合う唯一の道は、過剰な愛だけです。」

各国からの クリスマス メッセージ



主イエス・キリストのご降誕
と
新年のお喜びを申し上げます。

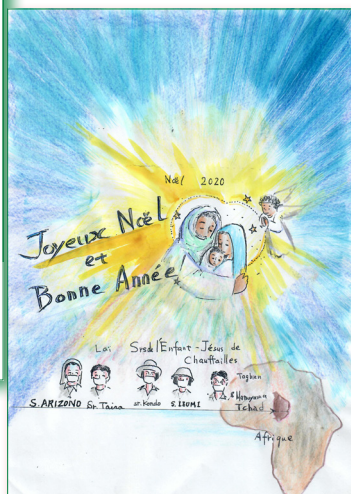
2020年は、世界中がコロナの感染拡大によって様々な苦難に見舞われました。しかしこの苦難を通して、私たちはこれまでとは異なる体験をし、人としての在るべき姿を見直し、改めるべき多くのことに気付かされたことを思い、良き社会、良き世界の実現に貢献できるチャンスをすることが出来るより願ってやみません。

帰国して2度目のクリスマスを迎えます。クリスマスも、昨年とは全く異なる状況の中でイエス様をお迎えすることになりますが、神のみこみ恵みは変わらぬものです。共に、平和と一致の愛であるイエスキリスをしっかりと受け、光として灯し続けることが出来るように、お子イエスキリスの豊かな祝福を祈っています。

新しい年も
どうぞよろしく
お喜びを申し上げます。

2020.12.25
Sr. 高野かつ子





新入会員 (敬称略)

個人会員 3名

矢野 洋子 (広島県広島市) 高倍 宣義 (東京都世田谷区) 森 円 (山口県光市)

事務局より

◎ 11 都道府県に緊急事態宣言が出る中で当会に会費や寄付をお送りいただきまして誠にありがとうございました。

◎ 事務所では時差出勤、消毒、時短に加え残念ながら面会を無くして継続しております。皆様も安全にお過ごしください。

◎ きずな会報誌は何とかページを少なくして発行することが出来ました。6月号は良いニュースで溢れることを祈ります。

◎ 皆様のお家で眠っています未使用の切手・ハガキなどをお送りください！年間の通信費の一部として大切に使用しております。

編集後記

◇新型コロナウイルスが全国に蔓延してから1年を越えました。未だに、緊急事態宣言が解除されない首都圏1都3県、近畿圏2府1県、中京圏2県、九州1県では、主日のミサを自粛している教会や高齢の方々に参加の自粛をお願いしている教会もあります。本当に我慢している方々もたくさんいらっしゃいます。また、世界中の人々が終息を願い祈り続けています。何故このような事態が発生することになったのか、信仰を持つ者としてしっかり祈り求めながら、今年の復活祭こそ、皆さんと一緒にミサに与り、聖体拝領の受けられる聖週間を迎え、復活の喜びをお祝いしたいと願っています。(い)

発行：日本カトリック海外宣教者を支援する会

〒106-0032 東京都港区六本木4-2-39

Tel. 03-5770-8753 Fax. 03-5770-8754

e-mail kaigai-senkyo@cronos.ocn.ne.jp URL <http://www.kaigai-senkyo.jp>

・銀行振替口座 みずほ銀行高田馬場支店 普通 2084112
日本カトリック海外宣教者を支援する会

・郵便振替口座 00140-5-67881 海外宣教者を支援する会